

多角的に比較・判断し行動できる 情報モラル授業の実践

 Tottori Technical High School
鳥取県立鳥取工業高等学校

中林 正樹



ネットの世界は
本県も例外ではない



知識のみの習得ではない
情報授業への期待増



ネットは匿名性

『わからなければ大丈夫』

ネットを介するトラブルが増えている

生徒たちが問題に直面した場合

安易な行動を

とってしまわないのでは？

必要なこと



- ・ 情報を鵜呑みにせず、1歩踏みとどまること
- ・ 主体的な情報収集ができること
- ・ 多角的に比較し、判断できること

研究の目的

問題に直面した時でも、主体的に情報を習得し、多角的に比較・判断できるよう、単元構想と授業展開を考え、実践・考察する

本校は アクティブラーニング 推進

生徒が主体的に問題を
発見し、解決出来る
授業づくりに心がける



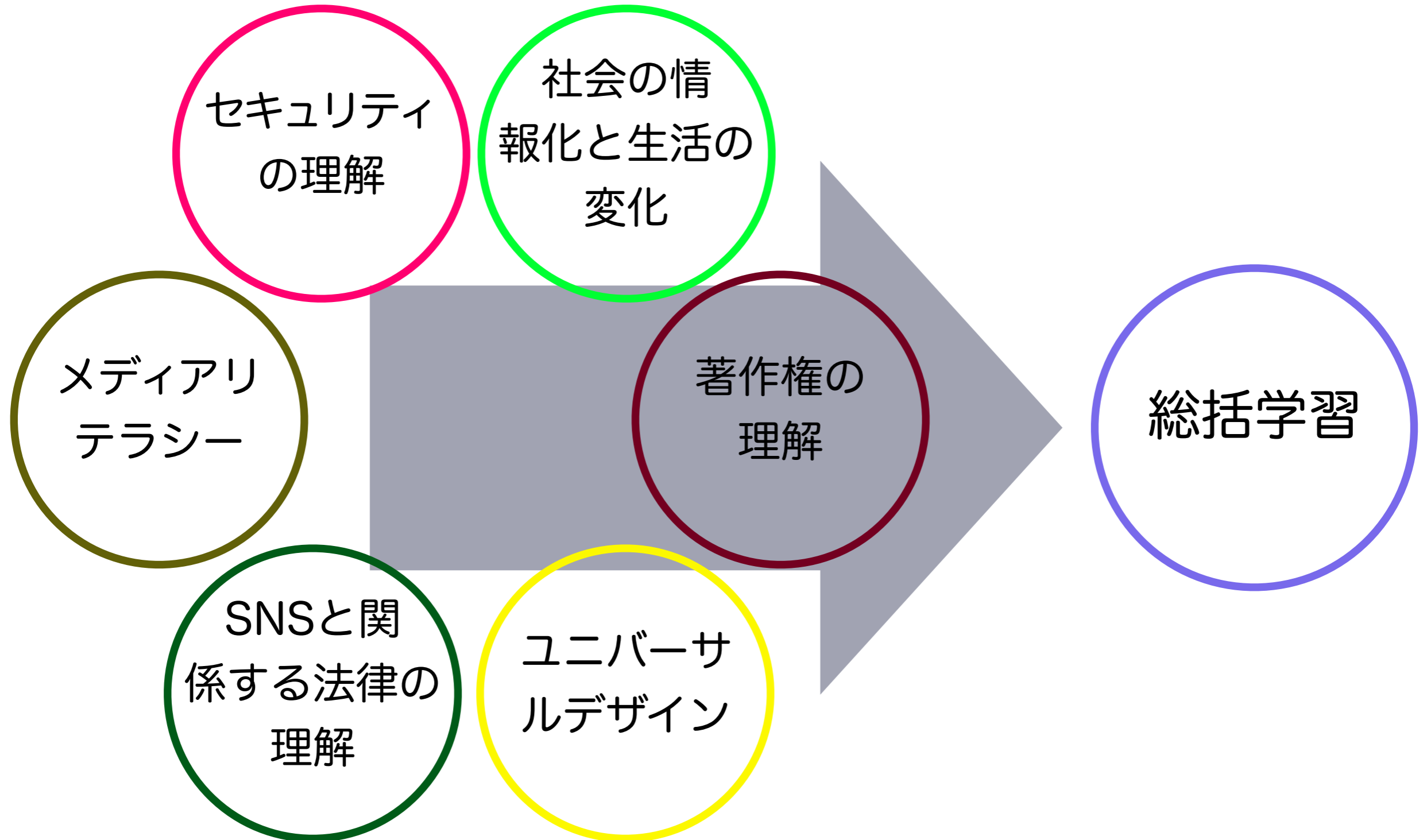


単元計画

	主な内容	時間
①	社会の情報化と生活の変化	2時間
②	ユニバーサルデザイン	1時間
③	セキュリティの理解	2時間
④	メディアリテラシー	1時間
⑤	SNSと関係する法律の理解	2時間
⑥	著作権の理解	1時間
⑦	総括学習	1時間



単元の流れ





単元評価

	S	A	B	C
評価	問題に直面した時、問題を認識し、多角的に比較・判断したことを友人に助言できる。	問題に直面した時、問題を認識し、多角的に比較・判断し行動できる。	問題に直面した時、問題を認識できる。	問題に直面した時、安易な行動をしてしまう。

総括学習に 向けた取り組み

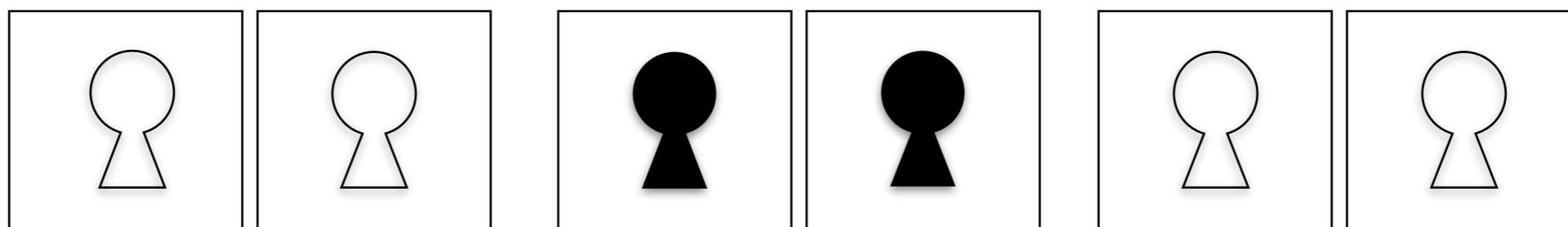
- ①メディアリテラシー
- ②SNSと関係する法律
の理解
- ③その他（情報の拡散）



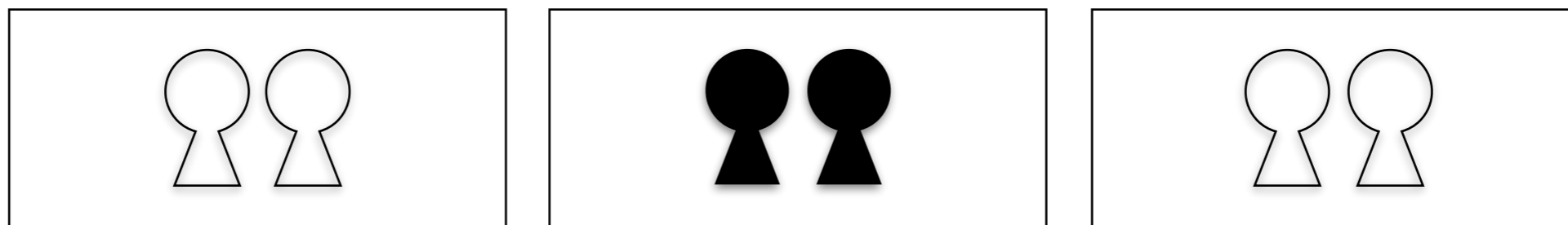


メディアリテラシー

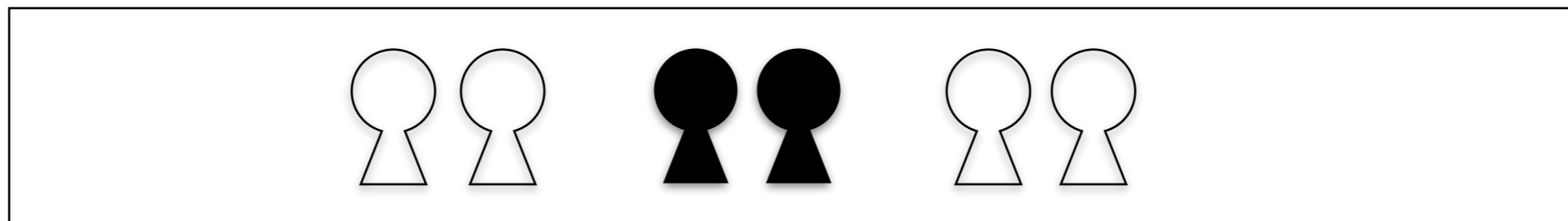
- ① 1枚の写真を上下で2つに分割し、ペアごとに上か下の写真を持つ
- ② メディアになったつもりで、1人ひとり、写真のタイトルと説明文を書く



- ③ ペアで写真のタイトル説明文を発表用紙に記述



- ④ 上か下の写真を持っているペアを混在させ、発表



メディアを介して得られた情報は、
そのまま伝えられているとは限らない

一部のみを切り取られている



情報を鵜呑みにせず、
関連情報も収集して
判断する必要性を理解させた



◆ SNSと関係する法律の理解

あるブログの会話から起こりうる問題の提起と関係する法律について調べ、グループで考えさせた

生徒A：サッカー選手情報交換ブログって知っている？

生徒B：聞いたことあるけど。

生徒A：そこで、サッカー選手の長〇選手の情報交換をしているんだよ。写真とか動画とか載っているし。

生徒B：すごい。

生徒A：ただし、メールアドレスを登録しないといけないよ。

生徒B：写真とか欲しいなあ。

生徒A：僕の兄のIDがあるからそれ使いなよ。

生徒の発表から

- ・不正アクセス行為の禁止等に関する法律
 - ・個人情報保護に関する法律
 - ・青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律
-

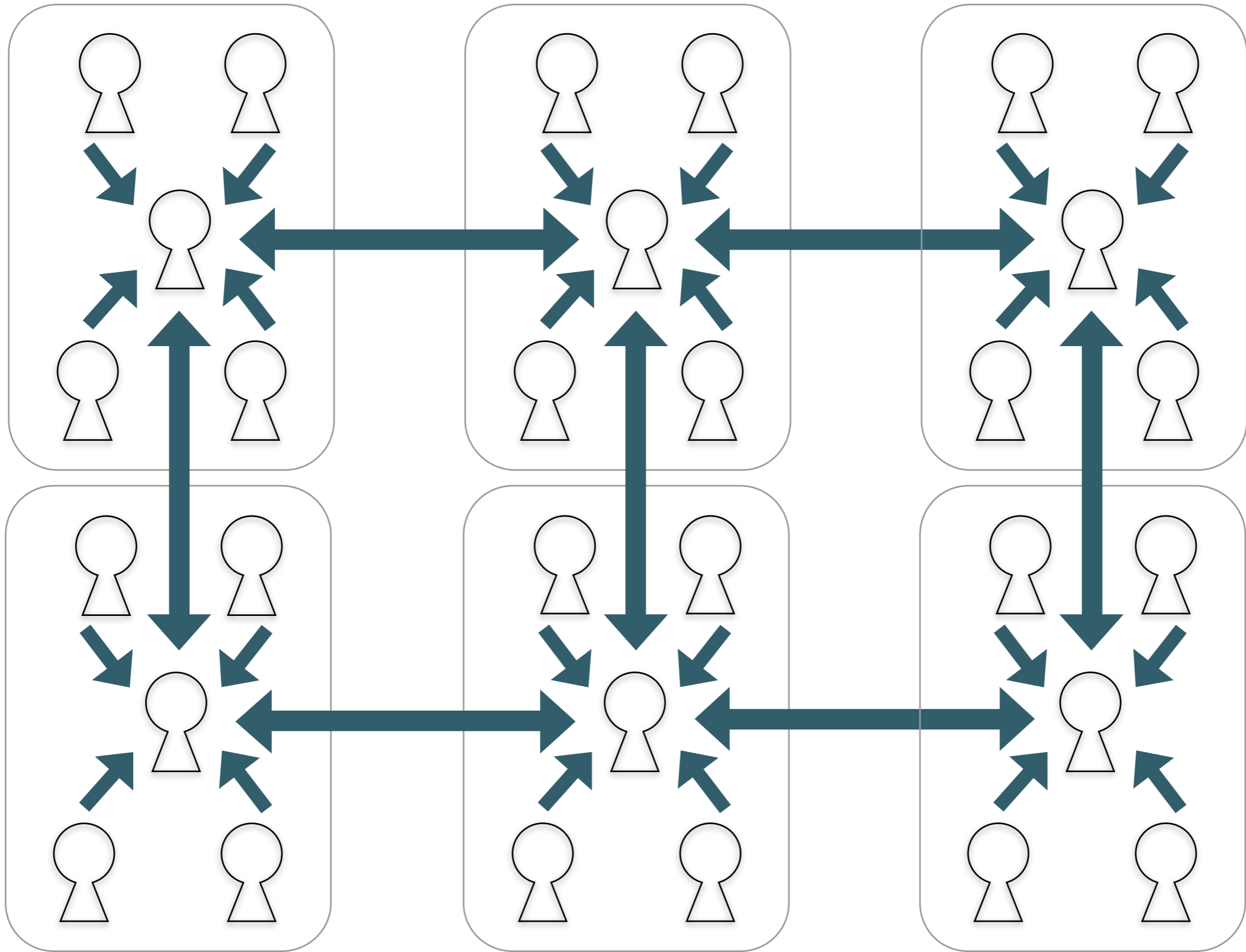


生徒の軽はずみな行動で法律を違反する危険性を理解させた



その他 情報の拡散

共有ドライブにワードのメッセージ入れ、コピーしていく



総括学習

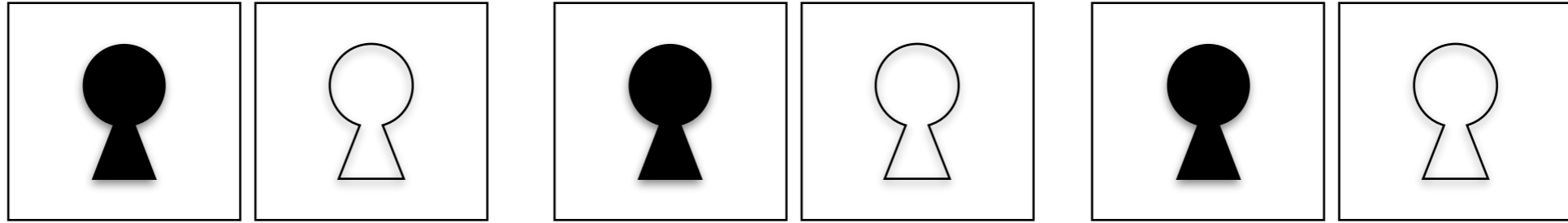
これまでの学習を踏まえ、必要な情報を収集し、総合して判断することができる

テーマ 「判断に困った場合どうする？」

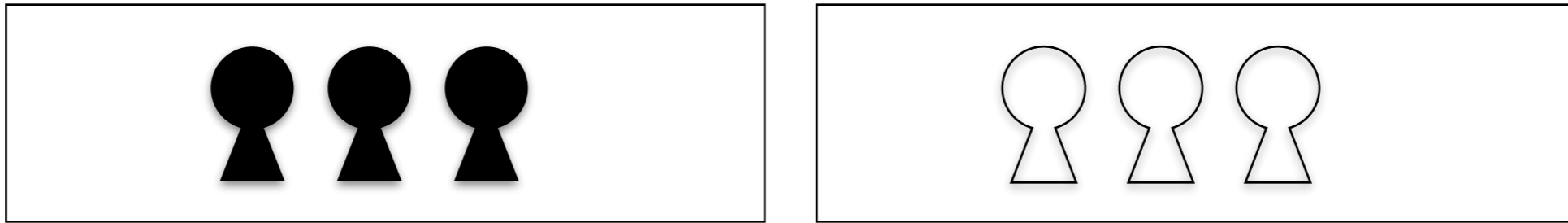
問題提起 「友人がレンタルしたCDを借りて、個人で聞くためにコピーしていい？」



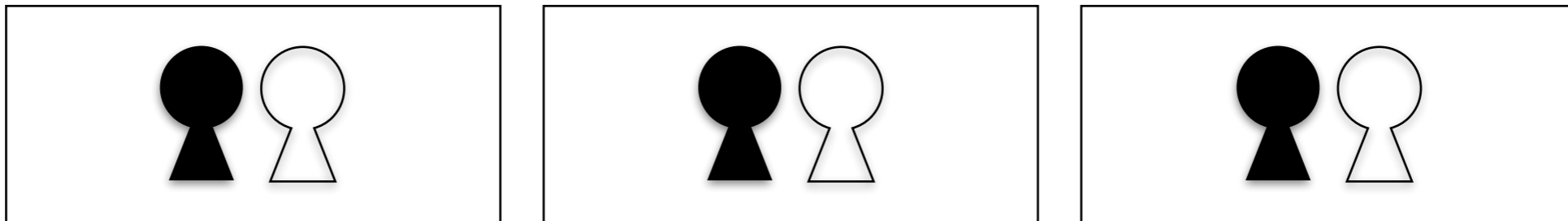
- ① (複数の情報収集の必要性) ペアを作り、次の視点で別々に情報収集
- ・著作権等の法律に違反していないか
 - ・レンタル会社の規約はどうか



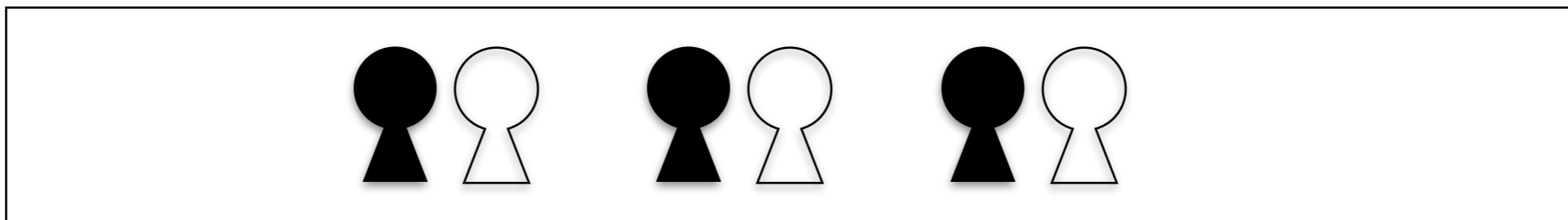
- ② (情報の信頼性を高める) ペアを離れ、同じ視点同士で情報を共有



- ③ (信頼する人との相談の必要性) ペアに戻り、それぞれの視点での意見を交換し、ペアの意見をまとめる



- ④ (モラル観を共有) グループになり、各々のペアの意見を発表する



①（複数の情報収集の必要性） ペアを作り、2つの視点で別々に情報収集



② (情報の信頼性を高める) ペアを離れ、同じ視点同士で情報を共有



③ (信頼する人との相談の必要性) ペアに戻り、それぞれの視点での意見を交換し、ペアの意見をまとめる



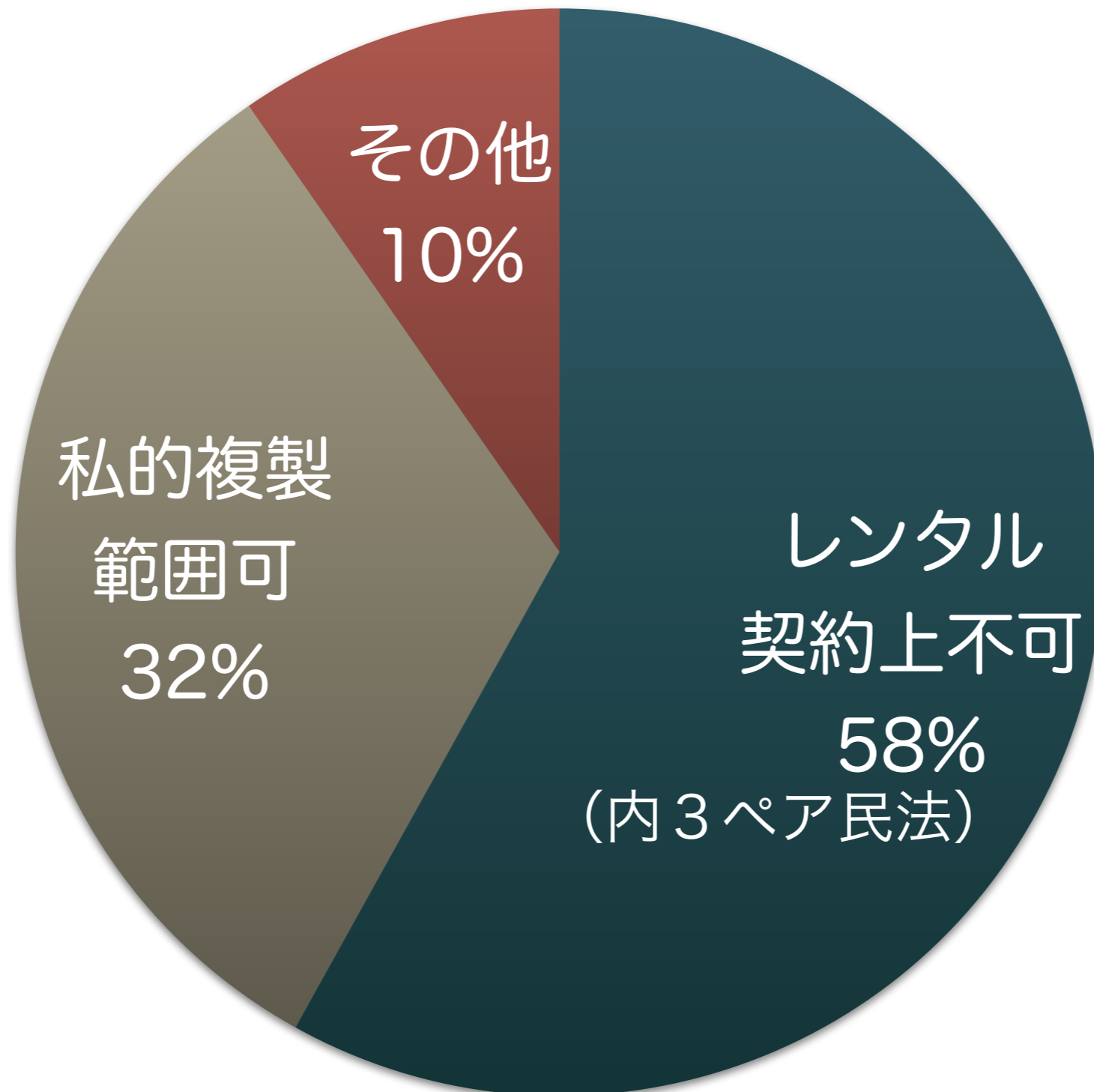
④ (モラル観を共有) グループになり、各々のペアの意見を発表する





ペア発表内容

ペアの発表内容は次のようであった（総数31）



● 授業後の感想

- ・自分だけで判断せず、聞いたり調べたりする。
- ・とても参考になった。自分のすることに責任を持った方がいいと思った。
- ・自分がこのようなことに遭遇したら、良く調べてからしたい。





単元評価

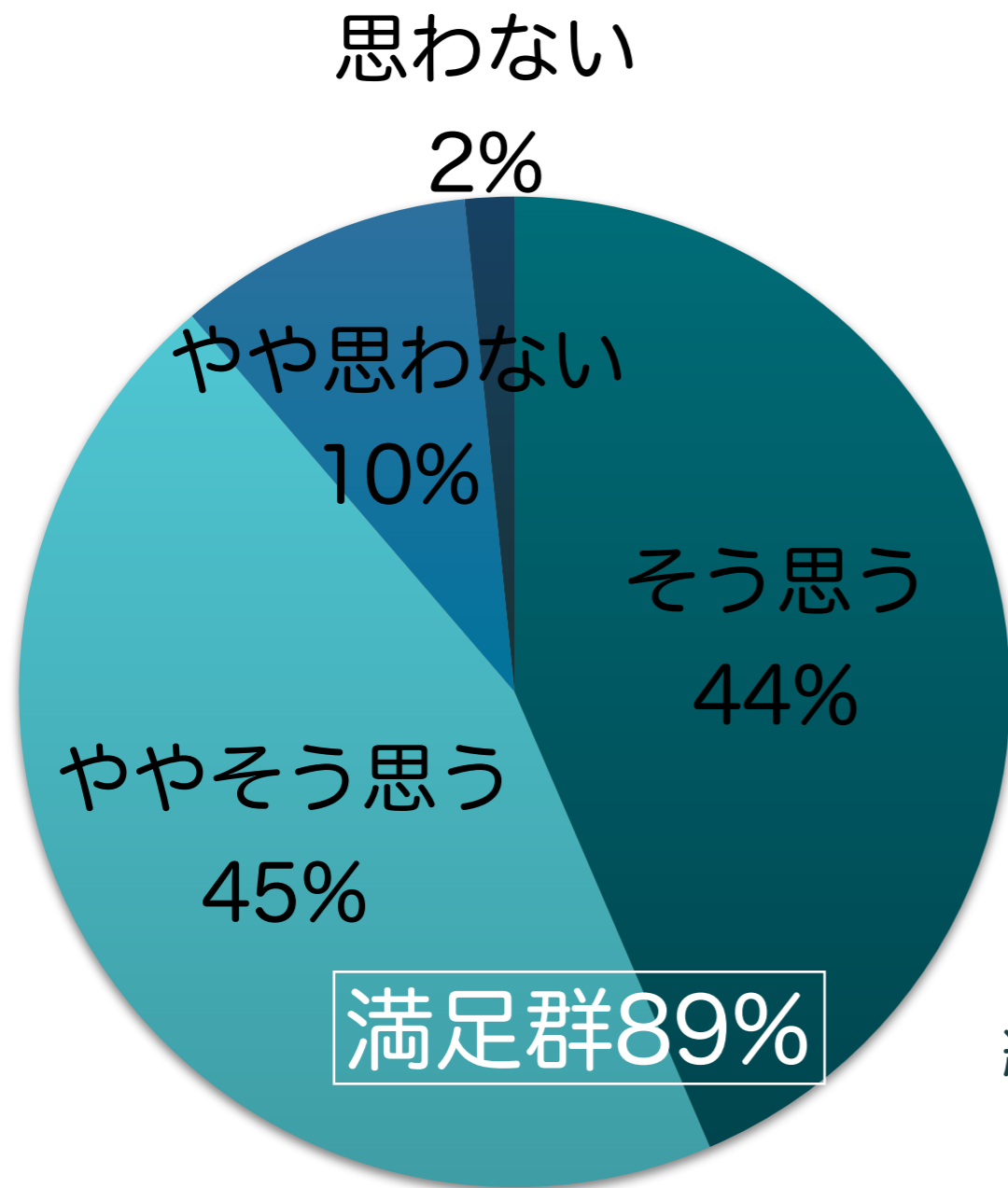
単元評価を生徒の感想から読み取った

評価	観点	人数	割合
A	問題に直面した時、問題を認識し、多角的に比較・判断し行動できる。	24人	39%
B	問題に直面した時、問題を認識できる。	33人	52%
その他		6人	9%



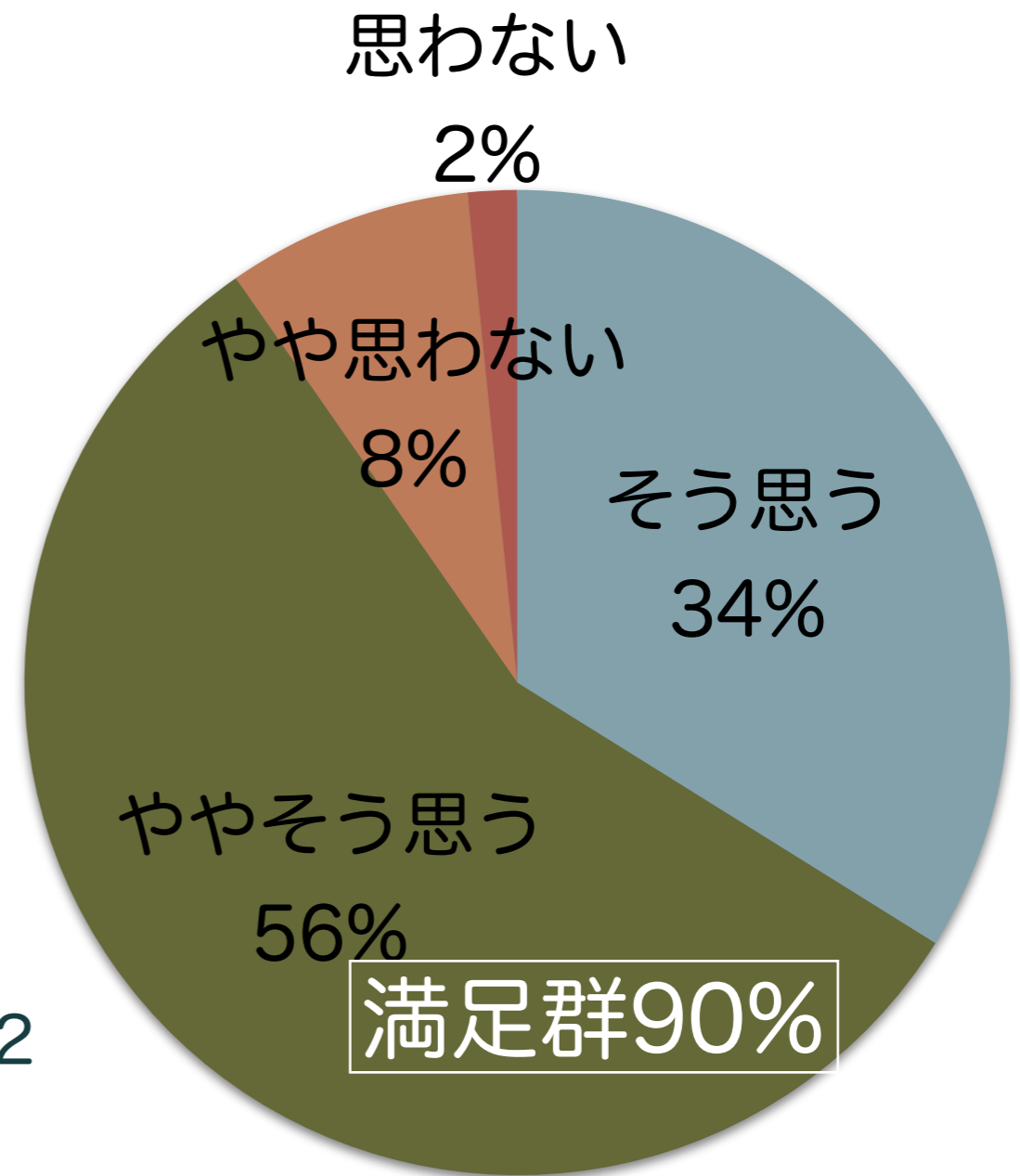
授業アンケート

鳥取工業高校は、授業毎に統一書式のアンケートを行っている



丁寧で理解しやすいですか

総数62



工夫ある授業をしていますか

単元のまとめ



- ・ほとんどの生徒が、安易は行動に出てはいけないことを理解
- ・多角的に情報収集し、比較・判断する行動の指標になったのではないか
- ・授業方法にも満足

授業者の思い



実際の問題は、さらに複雑で深刻

問題に直面した時やトラブルにあってしまった時には、

一人で抱え込まず、他の人に相談し、協力して解決して欲しい

ご静聴ありがとうございました



中林 正樹